



© 小林正典



認定NPO法人  
**幼い難民を考える会**  
 CARING FOR YOUNG REFUGEES

2010年12月  
 NO.96

# Children, Our Future

子どもたちの明日

## 目次

働く卒園生の今 奨学金生 スム・ブンターさん&ハック・ラッケナーさん	-----	2
公立地域幼稚園	-----	4
新DVD「プレイ外ウ保育所の1日」/カンボジア伝統絹絵緋ビダン展示会	-----	5
10年以上の支援者のみなさまからのメッセージ①	-----	6
イベント「写真家達によるチャリティー展」「ラタナクリスマスフェア」「クリスマスミサと小コンサート」	-----	6
-国内活動報告- 株式会社ユニテッドアローズ/三菱商事株式会社	-----	7
書き損じハガキ募集中	-----	8

幼い難民を考える会（CYR）は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に魅了され、1980年に組織されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。



# 卒園生の今

カンボジアにバンキアン・プレイタウ保育園を開いて18年。  
初期に卒園した子どもたちは今、たくましく成長しています。  
CYRは、将来この保育園で先生になることを目指す卒園生2名に、  
国立幼稚園教諭養成学校に通うための奨学金支援をはじめました。  
首都プノンベンにある養成学校は、2年間の全寮制です。  
ここでがんばっているブンターさん、ラッケナーさんにインタビューをしました。

## Background

両親が離婚した後、農業をしているお母さん・お姉さんと暮らしてきた。お姉さんが結婚して息子が生まれてからは、お姉さん一家と同居。  
高校卒業後、子どもが好きだったので先生になりたいと思い、CYR奨学金プログラムに応募。



### 先生になろうと思った理由は？

子どもが好きだから世話をしてみたいと考えました。学校で自分が習うことを伝えて、幼い時に絵を描くなどいろいろな体験をさせたいです。

### 寮生活や授業、都会での暮らして楽しいことは？

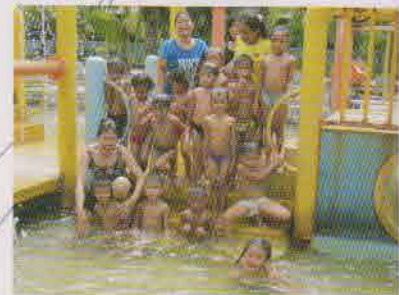
この学校に来て、色々な州出身の友だちができました。授業中に先生が冗談を言いながら、笑って勉強しているときは楽しいです。

### 大変なことは？

ルームメイトとの共同生活では、整理整頓しない人もいるので困ります。洗濯や干すスペースが狭いのはいつも大変です。干している間にスカートが盗まれたこともありました。

### 将来の夢は？

自分の村に戻って、保育園の先生になりたい！



## スム・ブンターさん (23)

プレイタウ保育園卒園



教務管理の授業。グループワークで進められる。



授業の様子。2年制で100人が在籍。



寮の部屋の中。  
16人が1つの部屋で共同生活をしている。  
プライベート空間はない。

# Background

両親が亡くなり、おじいさん・おばあさんと暮らしてきたが、今年5月におばあさんも亡くなった。4人きょうだいの3番目。好成績で高校まで通ったが卒業試験に落ち、これ以上学費を払えないため学業を続けるのを断念。仕事を見つけたと思ってCYR奨学金プログラムに応募。

## 先生になろうと思った理由は？

子どもが好きだからです。将来良いおとなになれるように教えたいですね。一番影響を受けやすい幼児期に教育すれば、心も身体もきちんと成長すると思いました。

## 寮生活や授業、都会での暮らして楽しいことは？

学校では、ダンスやグループワークの時間が好きです。先生の質問に答えて褒められたときは嬉しいです。友だちと一緒にごはんを食べている時も楽しいですよ。

## 大変なことは？

1日2回しかごはんが出ないのですが、量が足りないのとおなかの空きます。寮生活では、勝手にものを食べるのは禁止されているんです。特に、水が満身に飲めなかった時は大変でした。それから、夜のガードの仕事が当番制でまわってくるのですが、その翌日は眠いので授業がづらいです。

## 将来の夢は？

卒園したバンキアン保育園の先生になりたい！



夏休みには、卒園したバンキアン・プレイアウト保育園で保育実習を体験しました。

# ハック・ラッケナーさん (19)

バンキアン保育園卒園

## 学校生活の一日



学校で習う授業科目

### 月～土

土曜は午前中のみ。木曜午後は掃除の時間

- 4:45 起床、庭の掃除
- 5:00 シャワー、支度
- 6:30 国歌斉唱
- 6:35 授業
- 11:00 お昼休み(15分交代で給食制)
- 13:45 授業
- 17:00 休憩
- 17:30 夕食
- 18:00 体操
- 19:00 自習
- 21:00 シャワー
- 22:00 消灯、就寝

※夜は当番制ガードマンの仕事がある  
※授業は1日7～8科目



寺子屋の役割を果たす

## 公立地域幼稚園

カンボジア教育省は、小学校中退率を減らすためにも、幼児教育を奨励しています。2008年から3年間で450ヶ所の公立地域幼稚園(\*)を開校。幼稚園のない地域などに、簡易的な保育の場が設けられました。CYRは、教材の提供に協力しています。

(\*)お寺、集会所などで開かれる地域の幼稚園



保護者がたくさん見学にきていた。



幼稚園は7:00~9:00。紙芝居に夢中。



CYR教材「子音パズル」で文字に親しむ。

## 先生たちのインタビュー



ハン・クロム・クラン幼稚園  
ラム・バン・チャン先生  
19歳

高校に通いながらここで先生をしています。子どもが好きなので、先生募集の話が村で聞いたときには「やってみたい」と思いました。ここには32人の子どもが通っています。普段、この建物は選挙会場として使われています。机やイスなどは近くの小学校からもらいました。

村の人たちはここができて、「子どもがいるいるなことを学べるようになってうれしい。預かってもらえるので仕事ができるようになった。」と喜んでいました。

子どもたちには、将来良い仕事について家族を支えられるようになってほしいですね。



ボン・ブレイ・クロー幼稚園  
チャエ・サム・ポー先生  
31歳

以前は農業を手伝っていましたが、自分自身を向上させたいと思って先生になりました。今、26人の子どもが通っています。私の家の土地を無償で貸していて、建物は村の人が建ててくれました。机は小学校からもらいました。

これまでの子どもたちはただ遊んでいるだけだったのですが、今では挨拶ができたり、文字が分かるようになってきました。教材の使い方を覚えるのは大変です。子どもたちには将来自分の夢を持って叶えてほしいです。

NEW

## DVD「プレイタウ保育所の1日」完成

CYRがカンボジアの農村で運営しているプレイタウ保育所。  
朝の給食材料の買出しから帰宅までの丸1日を紹介するDVDが完成しました。



DVD発売中  
「プレイタウ保育所の1日」  
(34分)

- 価格 1,000円
- 送料・手数料 200円

お申込はCYRまで  
TEL: 03-3943-6971  
E-mail: info@cyr.or.jp

制作協力: 妙画社・MAXIMEDIA

## 消え行く手仕事に新しい命を吹き込む カンボジア伝統絹絵緋ピダン<sup>(ピダン)</sup>展示会

8月7日から1ヶ月間、カンボジア首都プノンペンにある国立博物館では、「古い物語の復興:新しいカンボジアのピダン」という展示会が開かれました。ピダンとはカンボジア語で「天蓋(てんがい)」の意味。お寺の仏像の上や天井に飾られる布のことを呼びます。模様が複雑で製作には高度な技術と大変な手間がいりますが、内戦の影響により職人たちは激減してしまいました。一方で昔の価値ある作品は海外に流出し、コレクターに売られてしまったためにカンボジア国内にはほとんど残されていません。

そんな希少なピダンが国立博物館で展示されたのは嬉しいニュースです。この展示会を実現したのは、「ピダンの素晴らしさを広めたい」という願いで集まった日本人による「ピダンプロジェクトチーム」とオーストラリア人の博物館(学芸)専門家ボランティア、CYRカンボジア事務所長の関口晴美もメンバーのひとりです。



会場には15枚の復刻されたピダンが展示され、多くの外国人やカンボジア人の感動を呼びました。CYR織物研修センタートレーナーのスーン・ミットさんや若い研修卒業生の作品も展示されました。織物はカンボジア文化の奥深さや技能の素晴らしさを象徴するものです。カンボジアでも特に若い世代の人たちの中には、ここに来てはじめてピダンを見たという人もたくさんいました。

展示が終わった後は、博物館がピダンの常設展示や保存・管理を適切に行うことを条件に作品が寄贈されます。今後、このような展示会を通してカンボジアの伝統文化が世に知られ、その存在が保全されていくことを願って止みません。

# 10年以上の支援者のみなさまからのメッセージ①

CYRは約1,500名のみなさまに支えられて活動を続けています。

設立30周年を迎えた節目には、10年以上ご支援いただいているみなさまにアンケートを行いました。継続的なサポートの理由や活動への率直なご意見がたくさん寄せられ、スタッフ一同大変励まされました。メッセージの一部を連載でご紹介します。



CYRが設立された前の年に次男が生まれ、自分の子どもの幸福な環境に比べ、難民の子どもたちの劣悪な環境を改善する手助けができればと思い、支援を始めました。CYRから届くお礼ハガキの子どもの笑顔を見ると嬉しくなります。私のモットーは、「継続は力なり」です。生きている限り、会の活動が続く限り、サポートをしたいと思っています。

支援暦30年  
田島 敏子 さん



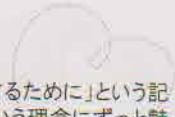
カンボジアの人々が、ゆっくりと大地に生きている姿や、子どもや年寄りを大切にしている姿には心が和みます。CYRには、カンボジアの人々の持っている力を十分に発揮できる事業を進めたいと思います。若い人たちが参加できる機会があると、もっとカンボジアへの理解が深まるのではないかと考えています。

支援暦29年  
栗野 美代子 さん



食べて、遊んで、文字を学ぶ。「子どもたちが生活する場」を作り出す活動を続け、発展させているCYRに共感しています。保育園がスタートして給食が始まった時や、文字カードが完成して楽しんで学んでいる様子など、どちらも子どもたちの顔、表情がすばらしいです。織りで自立を目指す女性たちのことや、「自分が織った布を売る店を開くのが夢」と語った女性のことは印象的でした。

支援暦21年  
久津見 宣子 さん



30年前、朝日新聞で「幼い難民の自立を支援するために」という記事を読んでCYRを知りました。以来、この「自立」という理念にずっと魅かれてきました。いまでは92歳になりましたが、毎回の機関紙を楽しみに、様々のご案内に心動かせております。機関誌はすべて残っています。スタッフ報告記録は、言外のご苦勞も想像しつつ熟読いたしました。「卒園生の今」は、楽しくまたうれしく拝見。テレビで各地の難民の報告や支援への呼びかけを注意して視聴しますが、その都度CYRの価値に重きを置きます。自立の支援、それこそが本当の支援です。

支援暦15年  
鹿野 京子 さん



## イベントのお知らせ

### 第14回

### 「写真家達によるチャリティー展」

日にち: 12月17日(金)~19日(日)  
時間: 10:00~19:00 ※最終日16:00まで  
場所: 富士フィルムフォトサロン東京  
(東京外口日比谷線 六本木)  
主催: フォトボランティアジャパン基金  
内容: プロ写真家の作品展示即売

1点買うと、  
500人のカンボジアの子どもたちに  
給食が提供できます。

### カンボジア手織り布ショップ

### ラタナ「クリスマスフェア」

日にち: 12月17日(金)、18日(土)  
時間: 10:00~16:00  
場所: カンボジア手織り布ショップ ラタナ  
(CYR東京事務局内)



### クリスマスミサと小コンサート

日時: 12月20日(月) 18:00~  
場所: 聖心女子大学聖堂(東京外口日比谷線 広尾)  
主催: CANTATE DOMINO

# 国内活動

CYRカンボジアの活動は、さまざまな日本での協力に支えられています。

# 企業



今年4月に、人気10ブランドとユナイテッドアローズ ウィメンズのコラボTシャツを販売し、うち2ブランドの商品1枚につき500円(ワンコイン)をCYRに寄付しました。同プロジェクトは、あるブランドのデザイナーさまから、ファッションを通じて社会貢献をしたいというご相談を受けたことをきっかけにスタート。普段、服を手がけていないブランドも、当社が生産をサポートすることで

チャリティー先は、LOVEというテーマのもと各デザイナーさまに選んでもらい、ブランドそれぞれの思いを反映。500円の寄付金は、各ブランドより250円、当社より250円とし、共同チャリティーとしました。

今回、同プロジェクトはたいへん多くのお客様さまにご共感いただきましたので、今後も季節によってアイテムを変えるなどして、継続して実施していく予定です。



UNITED ARROWS

## united LOVE project ファッションを通じて社会貢献

ユナイテッドアローズ  
<http://www.united-arrows.jp>

プロジェクトへの参加が実現しました。

## 社員が取り組む「布チョッキン」

三菱商事株式会社  
総務部 社会貢献チーム 安川 彩さん



三菱商事(MC)では、2009年3月より社内ボランティアプログラムとして「みんなで布チョッキン」を開催しています。本年2月から3月末にかけて「MC全国で布チョッキン」と題し、本社と国内6支社の社員総勢251名が参加して全国展開した他、社員が家族と一緒に家庭でもボランティアに取り組みました。その結果、現在までに人形251体、布ボール308個を「幼い難民を考える会(CYR)」様へ寄贈することができました。



8月には事務局次長の福田様にご講演頂き、社員が切った布がカンボジアの女性の手を経て人形と布ボールとなり、プノンペンにある第2村保育園の子どもたちのもとに届いた様子等をご報告頂くことでCYR様の活動についてより理解が深まりました。また、社内で開催した「チャリティーバザー」にもご出店頂き、社員が商品への値札付けボランティアを行いました。今後も、CYR様の活動を支援していきたいと思っています。

# 企業

# 書き損じハガキを送ってください。

年賀状を書くこの季節、ご家庭に書き損じハガキや未使用切手はありませんか？

「みんなで布チョッキン」を通じて、カンボジアの子どもたちへ遊具(人形・ボール)を届けるための運搬費として役立てられます。

## ハガキは郵便局で切手に交換。

1枚につき手数料(5円)が引かれます。



## みんなで布チョッキンの流れ



50円ハガキ1枚で、人形1体分の布が届けられます。



## 目標 1,000人 給食がつくるカンボジアの未来 「月いち募金」サポーター募集

銀行口座、郵便局、クレジットカードを使って自動引き落としで寄付ができます。日に換算すると、1日30円=カンボジアの子どもたちの給食約1食分！ぜひご協力ください。

### \*特徴\*

1. 毎月、自動引き落としなので、振込みの手間が不要です
2. 毎月最低1,000円から、金額を設定して募金できます

### \*お申込み方法\*

同封の月いち募金チラシの裏面(お申込書)にご記入いただき、ご返送ください。



1/31までのお申込で、CYR写真集(2,000円)をプレゼント！